

平成27年度
事業報告

社会福祉法人 ぬくもり福社会

I . 法人本部

《総括》

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）が施行され3年が経過した。附則では、施行後3年を目途として障害福祉サービスの在り方等について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずることとされており、平成27年12月に基本的な考え方が示された。

その中で、本人が望む地域生活の実現として、障害者の意思が適切に反映された地域生活を実現するため、障害福祉サービスの提供に関わる主体等が、障害者の意思決定の重要性を認識した上で必要な対応を実施できるよう、意思決定支援に取り組むとともに、成年後見制度の適切な利用を促進する必要があるとされた。

また、障害者の高齢化に伴う心身機能の低下等に対応できるよう、人材育成や重度障害者に対応したグループホームの位置付けなど、必要な対応を行うとともに、「親亡き後」への準備を支援する取り組みを進める必要がある。

「親亡き後」に備えて、当該障害者がどのような課題を抱えているか、それに対して何を準備しなければならないかを明確にするため、支援者に伝達するために作成する本人の成長・生活に関わる情報等の記録が、親族等を対象とした研修の中で活用されている例がある。「親亡き後」に親以外の者が支援することができる状況を作るためには、親がいる間に準備しておくことが重要だと思われる。

高齢化による障害者の心身機能の低下に伴い、従来 of 事業所の体制・人員では十分な支援が行なくなっているケースもある。障害者自身も日中活動への参加が困難となったり、若年者と同様の日中活動ができなくなっている等の指摘がある。

障害福祉サービス事業所では高齢者に対応するノウハウが乏しく、事業所における支援技術の向上が必要である。高齢化に伴い心身機能が低下した障害者に対応するための技術・知識を高めるため、障害福祉サービス事業所においても心身機能の低下した障害者支援の手法などの研修を取り入れるべきだと考える。

ぬくもりの郷においては、高齢化に伴い重度化した障害者に対応することができる体制を備えた支援や日中活動を提供するサービスを行うことがさらに予想される。その際には、入居者の高齢化や障害特性に配慮しつつ、医療との連携についても留意する必要がある。

重点目標であった「やる気のある人材の確保と育成」として、福祉・介護職員処遇改善加算も引き続き申請し、職員の処遇向上に努めた。職員の役割と職責の自覚、能力向上など、キャリアパスに対応した人事考課を実施し、意欲を引き出せる評価を行うことができた。また、人事プロジェクト会議で協議してきた新給与制度の導入も職員のモチベーションアップにつなげることができたと考える。

職員においては「施設運営」から「法人経営」への変革の意識も浸透させ、法人には事業継続と公益な取り組みに充てる資金が必要との理解を求めていく。今後は、「公益性な取り組みの一層の推進」により社会福祉法人としての存在意義を果たしていきたい。

決算内容としては前年度と比較して、本業の収支を示す事業活動収支差額は118%と着実に増加しており、プラスを確保している。今後は、地域の福祉ニーズに対応するため、積極的に施設整備計画、専門性の高い人材の育成と確保を進める必要があるため、キャッシュフロー経営を前提として進め、財務体質の健全化を図っていく。

今後とも、利用者・地域に選ばれる社会福祉法人として、時代に即応した福祉サービスを実施すべく、中長期計画に基づき、新規事業の展開や経営改革に取り組んでいきたい。

1. 運営事業

(1) 第二種社会福祉事業

- ア. 生活介護事業所ぬくもりの家（定員40名）
- イ. 生活介護事業・就労継続支援B型事業所ぬくもりワークス（定員60名）
- ウ. 生活介護事業所まるくてワークス（定員60名）
- エ. 共同生活援助事業所アットホーム（定員18名）
- オ. 生活介護事業所ぬくもりの郷（定員20名）
共同生活援助事業所ぬくもりの郷（定員14名）
短期入所事業所ぬくもりの郷（定員4名）
- カ. 相談支援事業所 ぬくもり

(2) 公益事業

- ア. 地域生活支援事業
日中一時支援事業（ぬくもりの家・ぬくもりワークス・まるくてワークス・ぬくもりの郷）

2. 役員会の開催状況

(1) 第1回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成27年5月26日（火）ぬくもりの郷
出席理事5名・監事1名
- イ. 評議員会 平成27年5月26日（火）ぬくもりの郷
出席評議員12名・監事1名

(2) 第2回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成27年12月10日（木）ぬくもりの郷
出席理事6名・監事1名
- イ. 評議員会 平成27年12月10日（木）ぬくもりの郷
出席評議員12名・監事1名

(3) 第3回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成28年3月29日（火）ぬくもりの郷
出席理事6名・監事2名
- イ. 評議員会 平成28年3月29日（火）ぬくもりの郷
出席評議員12名・監事2名

- (4) 監査会 平成27年5月13日（水）・14日（木）ぬくもりの郷会議室
出席監事2名・立会理事2名（理事長・鈴木理事）
施設長・事務局

3. リスクマネジメントの状況（延べ件数）

| | ぬくもりの家 | ぬくもりワークス | まるくてワークス | アットホーム | ぬくもりの郷 | 計 |
|----------|--------|----------|----------|--------|--------|----|
| ヒヤリハット事例 | 14 | 11 | 7 | 3 | 14 | 49 |
| 事故報告 | 5 | 3 | 9 | 3 | 8 | 28 |
| 苦情報告 | 2 | | | | 1 | 3 |
| 虐待事例 | 1 | | | | 1 | 2 |

4. 第三者評価の受審状況

受審は見送ったが、ぬくもりの家、ぬくもりワークス、まるくてワークス、アットホーム、ぬくもりの郷はそれぞれ自己評価を行い、前年度の受審結果を踏まえた改善に努めた。

5. 職員研修の実施状況

法人主催の研修として新規採用職員を対象とし、事前研修（入社前3月に実施）を3日間、事後研修（4月～10月の業務後に実施）を計12回行い、新規採用職員の職務に対する意識の向上や知識の定着を目指し、早期戦力化を図った。研修の講師は中堅・ベテラン職員が務め、知識や技術の再確認をするとともに、ティーチングスキルの向上を図った。

6. 会報の発行

法人の会報を発刊し、施設の内容などの紹介を行い、地域住民の理解を深めるよう努めた。

（1）発行回数 年2回

（2）発行部数 1,100部

（3）配布先 保護者・手をつなぐ親の会会員・福祉関係施設・行政機関
ボランティア団体・北明治連合町内会・赤松町内会・池浦町内会
学校等

7. 職員の状況（正規職員）

（1）採用と退職状況（人）

| | 27年度末の職員数 | 27年度採用／退職 | | 26年度採用／退職 | |
|---|-----------|-----------|---|-----------|---|
| 男 | 26 | 5 | 2 | | 3 |
| 女 | 18 | 5 | 3 | 4 | 4 |
| 計 | 44 | 10 | 5 | 4 | 7 |

（2）有給休暇取得状況

| 勤続年数 | ～1年 | 2～3年 | 4～5年 | 6～10年 | 11～15年 | 16～20年 | 20年～ | 平均 |
|---------|------|------|------|-------|--------|--------|------|------|
| 取得率（％） | 30.0 | 66.3 | 87.8 | 57.1 | 55.0 | 63.3 | 50.0 | 60.1 |
| 取得日数（日） | 3.0 | 6.8 | 11.3 | 10.4 | 11.0 | 12.7 | 10.0 | 9.6 |

8. 借入金の状況

(1) 福祉医療機構からの借入状況（平成28年3月31日現在） 単位：円

| 借入目的 | 借入年度 | 借入金額 | 平成27年度償還状況 | 借入残高 |
|--------------|------|-------------|-------------------------|-------------|
| まるくてワークス施設整備 | 17年 | 30,000,000 | 元金1,500,000 利息 220,500 | 15,000,000 |
| ぬくもりの郷施設整備 | 24年 | 80,000,000 | 元金4,032,000 利息 879,900 | 68,208,000 |
| ぬくもりの郷Ⅲ施設整備 | 27年 | 30,000,000 | 元金 936,000 利息 102,323 | 29,064,000 |
| 計 | | 140,000,000 | 元金6,468,000 利息1,202,723 | 112,272,000 |

(2) 借入金の償還財源の状況

単位：円

| 区分 | 金額 | 内 訳 |
|---------------|-----------|-------------------------|
| 元利償還金(平成27年度) | 7,670,723 | 元金6,468,000 利息1,202,723 |
| 財 源 | | |
| 自己資金 | 5,203,923 | 本部会計 |
| 補助金 | 2,466,000 | 愛知県（民間社会福祉施設運営費補助金） |
| 平成28年度償還予定額 | 8,788,050 | 元金7,548,000 利息1,240,050 |

9. 寄付金の状況

(1) 事業活動による収支の部

| | 本部 | ぬくもりの家 | ぬくもりワークス | まるくてワークス | アットホーム | ぬくもりの郷 |
|--------------|------------|--------|----------|----------|--------|---------|
| ぬくもりの家保護者会 | 2,298,000 | 42,152 | | | | |
| ぬくもりワークス保護者会 | 2,628,800 | | | | | |
| まるくてワークス保護者会 | 3,055,400 | | | 10,000 | | |
| ぬくもりの郷保護者会 | 6,250,000 | | | | | |
| 保 護 者 | 950,000 | | | | | |
| 企 業 | 25,007 | | | | | 146,000 |
| 団 体 | | 20,000 | | 244,436 | | |
| 個 人 | | 35,000 | 20,000 | | | |
| 計（円） | 15,207,207 | 97,152 | 20,000 | 254,436 | | 146,000 |

※新三商事株式会社（バスタオル等）

II. むくもりの家

《総括》

法人理念のもと、権利擁護をキーワードに支援を行った。さらに個別支援計画においては事業計画に「ストレングスに着目」と明記しレベルアップを図った。ただし、ストレングス（長所・強み）に着目し、それを計画やプログラムに反映させるということは容易でない。今後も継続して計画の質を高めていく必要がある。

また、保護者向けに満足度アンケート調査を同じ内容で前期、後期それぞれ行った。権利擁護や意思決定支援についての認知度が上がっていたことはアンケート調査自体が啓発につながったと思われる。ただ、細かい部分で保護者の望む支援と事業所側の支援方法にズレている部分があることも明らかになった。面談や保護者会や通信をとおして、保護者の意向を丁寧に聞き取るとともに事業所側の意図を伝え続ける必要がある。

《生活介護事業》

1. 重点目標に対するの総括

(1) 権利擁護意識の向上

権利擁護研修に参加したり、外部から講師を招き研修を実施した。また、クラスごとのミーティングを頻繁に行い意識の統一を図った。ただ、全体ミーティングを年間で二度しか実施できなかったことは反省点である。

外部ボランティアに対しては虐待防止法について何度も伝えるとともに「第三者から見てスタッフが利用者の権利を侵していないか」毎回ヒアリングした。このように第三者の視点を取り入れることが風通しにもなり虐待予防につながると考えられる。

(2) 安心感が持てる体制の構築

個別支援計画作成に際し、本人のストレングスに着目することを意識した。ただ、ストレングスに着目し計画や活動内容に反映させることが容易ではなく、今後も継続して個別支援計画作成については研鑽を重ねてレベルアップしていく必要がある。

保護者に対して前期後期それぞれ満足度調査を行った。結果から全般的には満足していただけていることがわかったが「普通」と回答した方も多く、さらに「ソフト面の充実（人材確保と育成）」を願う声もあったことからカイゼンの余地が大いにある。また、前期と後期を比して「意思決定支援」の理解や認知度が明らかにアップしたことはアンケート調査そのものが啓発につながり副産物だと捉えている。

利用率のアップについては94%を目標に掲げたが、在籍者に対しては90%を下回った。健康上や家庭の事情等で欠席しがちな利用者が何名かいるためである。

(3) 人材の育成・支援員のスキルアップ

支援員のスキルアップのため市外他事業所スタッフとお互い「出稽古」を行いスキルアップを図った。また、非常勤職員もなるべく外部研修に参加できる機会を持った。また法人内他事業所や安城特別支援学校への実習も取り入れスキルとモチベーションアップを図った。参加したスタッフは異口同音に「新鮮で刺激になった」「他事業所の理解につながった」と報告。来期も継続する。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍者数 (人) | 男性 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 22 | 22 | 257 |
| | 女性 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 | 19 | 19 | 240 |
| | 計 | 42 | 42 | 42 | 42 | 42 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 497 |
| 出席率 (%) | | 92.5 | 91.4 | 91.0 | 89.7 | 89.0 | 88.7 | 92.0 | 90.8 | 88.7 | 84.8 | 89.8 | 88.4 | 89.7 |

※ 1. 在籍者数は初日在籍数

※ 2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 年間行事

| 月 | 日 | 施設行事 |
|----|-------|----------------------------|
| 4 | 1 | 年度初めの会 |
| 5 | 1 | 健康診断 |
| | 15 | ぬくもりんピック |
| 6 | 5 | いちご狩り |
| | 25 | 嘱託医健診（歯科） 芋の苗植え→雨天中止 |
| 7 | 24 | プラネタリウム |
| 8 | 28 | 納涼夏祭り |
| 9 | 3 | 嘱託医検診（内科） |
| | 14~23 | 個別面談 |
| | 11 | お楽しみ会（ボウリング・カラオケ大会） |
| 10 | 18 | 北明治レクリエーション大会 |
| | 23・30 | 日帰り旅行（掛川花鳥園、伊賀モクモク手作りファーム） |
| | 27 | 芋掘り交流 |
| 11 | 6 | 日帰り旅行（伊賀モクモク手作りファーム） |
| | 20 | ぬくぬくふれあいコンサート |
| 12 | 11 | クリスマス会 |
| 1 | 12 | 成人式 |
| | 15 | 新年会 |
| 2 | 3 | 豆まき |
| | 18 | プラネタリウム |

| | | | | | |
|-----|--------|-----------|------|------|--------|
| 3 | 10 | 嘱託医検診（内科） | | | |
| | 7~16 | 個別面談 | | | |
| 月行事 | 誕生日会 | 外食実習 | 合同レク | 音楽療法 | 合同カラオケ |
| | サークル活動 | 体重測定 | | | |

4. ボランティア受入状況（延べ人）

| 区分 | 計 | 区分 | 計 | 区分 | 計 |
|-------|----|---------|----|--------|-----|
| 一般 | 29 | 大学・専門学校 | 24 | 北明治ネット | 46 |
| 保護司関係 | 8 | 民生委員 | 10 | J A青年部 | 8 |
| 高校生 | 2 | 音楽協会 | 7 | 中学生 | 65 |
| | | | | 合計 | 199 |

5. 実習生受入状況（延べ人）

| 区分 | 計 | 区分 | 計 | 区分 | 計 |
|-----|----|-----|----|----|-----|
| 大学生 | 84 | 高校生 | 48 | 合計 | 132 |

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

（1）日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|
| 利用者数 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |

Ⅲ. むくもりワークス

《総括》

新規採用職員の突然の辞退で正職員が1減でスタート、その後採用した職員も試用期間中に退職してしまうことが続き、さらにグループホーム兼務職員も8月末で退職、12月にも女性職員が自己都合で突然に退職するなど正規職員が安定しない1年で、非常勤職員も含め職員にかなりの業務負担となった。また、経験の浅い職員が大半を占める現場では、複雑かつ多様化する利用者及び保護者の対応に苦慮し、若手職員のフォローアップが十分に支援できない状況の時もあった。これらの環境が離職理由の一因になったと思われる。今後も職員育成に力を入れていきたい。

事業運営については、昨年度と同様に生産活動を主体に「働く場」として安定して働き続けられるよう、また、働く力を伸ばしていけるよう継続的な支援と就職支援に取り組んできた。生活介護において、特定疾患（パーキンソン病）を患い通所困難になった利用者を相談支援と連携して介護保険事業所につながたり、対人関係で通所ができなくなった利用者を本人の意向を確認してむくもりの家に異動することで、情緒も安定し通所できるようになった。また、面談をとおして本人・保護者の高齢化で将来の生活の場を心配されている方が増えている。就労継続B型においては、就労継続A型事業所と就労移行支援事業にそれぞれ1名が異動できたが、就職できた利用者はいない。2月に「サービス満足度調査」を実施した。「楽しく安心して利用できているか」の問いには「大いに満足」「満足」と回答された方が約93%だった。「スタッフの対応」について「不満」と保護者3名が回答されていたので、全職員に周知して改善をしていく。

出席率は、生活介護89.7%（前年度91.2%）、就労継続支援B型95.3%（前年度97.8%）となった。低下の理由は、病気や交通事故による長期欠席者がいたためである。工賃支給額は、一ヶ月平均で就労継続B型は32,751円（前年度42,845円）生活介護は9,838円（前年度5,369円）支給となった。作業種目を入れ替えたことで生活介護の収入が増額した。

また、日中一時支援は法人利用者以外の方にもサービスを提供できるよう努めてきた。

1. 事業内容

《生活介護》

- (1) 作業をとおして情緒的な安定を図り、利用者の主体性を育んだ。基本的な社会性や生活習慣を習得できるよう心掛けた。また、自主製品（パウンドケーキ）などを豊田自動織機安城工場や万能工業に、毎月1回昼休憩時間を利用して出張販売に、さらに公民館祭りや福祉センターまつり、福祉の店等に販売活動に参加した。
- (2) 講座活動（生け花、音楽療法、創作、書道）で活動の幅を広げることができ、町内文化祭など作品を出展して地域交流を図った。
- (3) 看護師による血圧測定などを行い健康管理に努めた。

《就労継続支援B型事業》

- (1) 個別支援計画に基づき、個人の特性に合わせた支援を行った。昨年度に続き西三河障害就業センターより講師を招き「就労セミナー」を年2回開催して就労に向けた意識を利用者に促し支援した。
- (2) (株)金星工業所での企業内実習は、利用者が交通事故に遭い中止となった。
- (3) 地域駐在所の警察官を講師に招き「生活セミナー」を年3回開催し、交通ルール

や社会のルールなどについて勉強会を行った。

2. 年間利用実績

《生活介護》

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍者数 (人) | 男性 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 33 | 33 | 33 | 33 | 32 | 402 |
| | 女性 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 144 |
| | 計 | 46 | 46 | 46 | 46 | 46 | 46 | 46 | 45 | 45 | 45 | 45 | 44 | 546 |
| 出席率 (%) | | 90.1 | 90.1 | 91.5 | 90.4 | 90.6 | 87.4 | 89.1 | 92.0 | 91.5 | 83.6 | 88.0 | 92.6 | 89.7 |

《就労継続支援B型》

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍者数 (人) | 男性 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 98 |
| | 女性 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 39 |
| | 計 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 138 |
| 出席率 (%) | | 91.6 | 96.0 | 91.6 | 94.7 | 98.6 | 89.3 | 95.2 | 99.5 | 96.8 | 94.5 | 99.1 | 96.4 | 95.3 |

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 保護者との連携

- (1) 個別支援計画書について、本人・保護者と三者面談や課別懇談を行い、家庭との連携を強化した。
- (2) 保護者会研修では、観寿々会の「アスパラトーズ・バストマトズ」施設見学。
- (3) 恋塚まつりに模擬店出店の協力を得た。

4. 地域との交流

- (1) 赤松保育園児を招待し、じゃが芋掘りを行った。また、新たな取り組みとして、町内役員と環境保全会と協働で「赤松環境美化ゴミ拾い交流会」を実施した。
- (2) 赤松町内夏祭りや福祉センター・公民館祭り、市内市外の福祉施設や企業の祭り等に参加し交流を図った。
- (3) 「恋塚まつり」や施設活動に多くのボランティアを受け入れ、交流を図ることができた。

5. 年間行事

| 月 | 日 | 施設行事 |
|----|------|-------------------------------------|
| 4 | 1 | 入所式 |
| | 11 | 県障害者スポーツ大会（日進市 口論議運動公園） |
| | 14 | 保護者会総会 |
| 5 | 7・27 | 健康診断 |
| | 7 | 生活セミナー（講師 安城警察署巡查） |
| 6 | 4 | いちご狩り |
| | 7 | 全国障害者スポーツ大会北信越東海ブロック大会（口論議運動公園） |
| | 11 | 赤松保育園とじゃがいも掘り交流会 |
| | 17 | 就労セミナー（就労継続B型／講師 西三河障害者就業・生活支援センター） |
| | 25 | 嘱託医検診（内科） |
| 7 | 14 | 保護者会 |
| | 21 | 避難訓練 |
| | 26 | 赤松町内夏祭り |
| 9 | 12 | 恋塚まつり |
| | 17 | 愛知県歯科検診（生活介護2-A） |
| 10 | 4 | 安城市福祉まつり |
| | 8 | 福祉協会ソフトボール大会（名古屋市守山区 小幡緑地） |
| | 13 | 保護者会 |
| | 15 | 愛知県歯科検診（生活介護2-B・就労継続支援B型） |
| | 21 | 避難訓練 |
| | 22 | 日帰り旅行・社会体験（三重県津市 全国障がい福祉物産展） |
| | 25 | 安城市福祉体育祭 |
| 11 | 11 | 生活セミナー（講師 安城警察署巡查） |
| | 26 | 名フィル・福祉コンサート（刈谷市） |
| 12 | 3 | 嘱託医検診（内科） |
| | 9 | 就労セミナー（就労継続B型／講師 西三河障害者就業・生活支援センター） |
| | 16 | お楽しみ会 |

| | | | | | |
|-----|-------|------------------------------|------|----|------|
| 1 | 5 | 初詣 | | | |
| | | 避難訓練 | | | |
| | 12 | 成人式 | | | |
| | 15・16 | 赤松町内公民館祭り作品出展 | | | |
| | 19 | 保護者会勉強会（アスパラトーズ・バストマトズ・安寿の郷） | | | |
| 2 | 16 | 保護者会 | | | |
| | 26 | 生活セミナー（講師 安城警察署巡查） | | | |
| 3 | 2 | 避難訓練 | | | |
| | 3 | 赤松保育園ひな祭り会 | | | |
| | 22 | 赤松環境美化ゴミ拾い交流会 | | | |
| | 24 | 嘱託医検診（内科） | | | |
| | 25 | ぬくもりアワード | | | |
| 月行事 | 音楽療法 | 生け花 | 創作活動 | 書道 | 体重測定 |
| | 血圧測定 | 外食実習(隔月) | | | |

6. ボランティア受入状況（延べ人）

| 区分 | 計 | 区分 | 計 | 区分 | 計 |
|---------|-----|------|----|-----|-----|
| 一般 | 100 | 民生委員 | 15 | 高校生 | 47 |
| 保護者 | 5 | 大学生 | 14 | 生け花 | 16 |
| 赤松町福祉委員 | 35 | | | 合計 | 232 |

7. 実習生受入状況（延べ人）

| 区分 | 計 | 区分 | 計 | 区分 | 計 |
|--------|----|-----|----|------|-----|
| 中学生 | 43 | 大学生 | 98 | 学校教諭 | 7 |
| 特別支援学校 | 16 | 高校生 | 60 | 合計 | 224 |

9. 授産事業

(1) 作業指導のねらい

利用者の適応性に応じた作業の技術習得と将来自活すべき社会性を養うこと。

(2) 資源化センター等安城市との業務委託を継続できた。

(3) 工賃の支給額を作業状況、生活態度、対人関係を総合的に評価し決定した。支給基準の見直しを年2回職員会議にて行った。

10. 作業内容（作業別収入）

《生活介護》

| 取引先 | 売上高（円） | 内 容 |
|-----------------|-----------|-----------------|
| 富士カーボン（株） | 753,300 | 自動車部品の加工 |
| フジイ化工（株） | 139,412 | エコキャップ選別 |
| タクマ産業（有） | 994,030 | 自動車部品（ウレタン）選別 |
| 名鉄百貨店 | 311,359 | 販促商品梱包作業 |
| アンジョウハーツ（商工会議所） | 90,655 | キャップパネル梱包・商品梱包等 |
| 安城七夕まつり協賛会 | 144,000 | ペットボトル洗浄・処理 |
| 自主製品 | 216,680 | 縫製品製造・販売 |
| 菓子製造（パウンドケーキ） | 771,873 | 菓子の製造・販売 |
| 名刺印刷 | 31,776 | 名刺の印刷 |
| アルミ缶販売（安城貿易） | 14,310 | アルミ缶回収 |
| 西三河セルプ | 22,047 | 委託販売 |
| ユニオンサービス・日本ハム | 238,990 | 委託販売 |
| まるくてワークス商品 | 47,460 | 委託販売（かりんとう・珈琲豆） |
| ナカムラ製菓 | 785,426 | 委託販売（せんべい） |
| 安城市（清掃事業所） | 94,010 | 段ボールコンポスト製造・販売 |
| 安城市（清掃事業所） | 2,898,050 | EMボカシの製造・配達 |
| 安城市（こども課） | 131,004 | アサガオ・ゴーヤ苗育成・配達 |
| 農作物 | 92,120 | 農作物の販売 |
| （有）三立製作所 | 14,605 | 自動車部品選別 |
| （株）ワイズサービス | 66,640 | DM封入作業 |
| グレイシャスビラ安城 | 1,165,550 | お風呂・ベランダ掃除 |
| その他 | 28,400 | 七夕短冊・カレンダー制作販売 |
| 合 計 | 9,051,697 | |

《就労継続支援B型》

| 取引先 | 売上高（円） | 内 容 |
|-------------------|------------|---------------|
| ミカテック | 60,270 | 軽作業 |
| 杉本商会 | 173,600 | 販促商品（ゴミ袋）封入作業 |
| 安城市（清掃事業所） | 11,457,495 | ペットボトル仕分け作業 |
| <u>安城市（維持管理課）</u> | 53,000 | リサイクル自転車の清掃 |
| 金星工業所（株） | 21,450 | 施設外実習 |
| デンソー（株）高棚製作所 | 32,100 | エコキャップパネル作成 |
| 合 計 | 11,797,915 | |

※下線（波線）の作業を入れ替えた。

11. 工賃支給実績

《生活介護》

4月～3月工賃支給額計 5,371,552円
 1ヶ月平均工賃支給額 9,838円（1人当たり・賞与含む）

《就労継続支援B型》

4月～3月工賃支給額計 4,519,688円
 1ヶ月平均工賃支給額 32,751円（1人当たり・賞与含む）

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

（1）日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 利用者数 | 13 | 24 | 56 | 43 | 20 | 19 | 15 | 20 | 22 | 22 | 21 | 23 | 298 |

IV. まるくてワークス

《総括》

安城特別支援学校卒業生3名を迎え、利用者52名での生活介護（生産活動型）事業を行った。新規職員の加入や異動・退職等により主任をはじめ5名の常勤職員が入れ替わり、利用者支援力と質の低下を危惧したが、安城市・愛知県に届けるような大きな事故もなく多少のバタつき感があったが、新鮮な雰囲気の中、チームワークで乗り切った感はある。

日中活動においては下請け作業はもとより、余暇であるサークル活動に力を入れ、ボランティア講師の協力のもと充実した内容を提供でき、利用者みな年間をとおして楽しめたと感じている。また、利用者満足アンケート実施により事業所の強み・弱みを再確認できたことで、これを活かしながら次年度に取り組んでいき、さらなる利用者満足の向上を目指していく。

1. 事業内容

《生活介護事業》

- （1）サークル活動（スポーツ・レクリエーション及び文化活動）を選択・参加をし、相互交流を図るとともに楽しく健やかに過ごすことができる環境づくりを行った。
- （2）利用者の主体性を尊重して個別支援計画を作成し、安定した日常生活が営めるよう計画に基づき支援を行った。
- （3）生産活動や自主製品販売等をとおして得た作業収入を工賃・賞与として支払った。
- （4）生活・作業環境を改善し、より快適で安全な環境を整えた。

2. 年間利用実績

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 在籍者数(人) | 男性 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 27 | 27 | 27 | 28 | 29 | 334 |
| | 女性 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 288 |
| | 計 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 51 | 51 | 51 | 52 | 53 | 622 |
| 出席率(%) | 92.6 | 90.9 | 90.7 | 92.3 | 82.9 | 85.1 | 84.0 | 84.9 | 83.8 | 82.4 | 85.3 | 87.6 | 87.0 | |

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 地域との交流

- （1）第10回「まるくてBANG! BANG! 夏まつり」を池浦町内会をはじめ、市内関係施設等の協力により開催した。
- （2）地元町内会行事（敬老会、芸能まつり）や子供会行事に会場として施設を貸与したり、池浦にある天満宮の大祭・納涼まつり・町内清掃に参加をし交流を図った。

4. 保護者との連携

- （1）3ヶ月ごとの保護者会開催 ～ 西三河圏域アドバイザー 伊澤氏を招いての勉強会

(2) 年2回の三者面談（モニタリング）をとおして利用者本位の支援の連携強化。

5. 年間行事

| 月 | 日 | 施設行事 | | | | |
|-----|---------|--------------------------|-------------|------|------------|-------|
| 4 | 1 | 入所式（3名） | | | | |
| | 28 | 碧南広籐園見学 | | | | |
| | 30 | 健康診断（半田医師会） | | | | |
| 5 | 25 | 避難訓練 | | | | |
| 6 | 9 | いちご狩り | | | | |
| | 18 | 嘱託医検診（内科） | | | | |
| 7 | 26 | 第10回まるくてBANG! BANG! 夏まつり | | | | |
| | 29 | 嘱託医検診（精神科） | | | | |
| 9 | 8 | アンサンブル演奏会 | | | | |
| | 11 | 高浜高校体育祭 | | | | |
| | 25 | 日帰り旅行（アクアトト岐阜） | | | | |
| 10 | 2 | 避難訓練（消火訓練） | | | | |
| | 25 | 安城市福祉体育祭 | | | | |
| | 27 | セピアコンサート（中部福祉センター） | | | | |
| 11 | 5 | 県フットベースボール大会（3年連続優勝） | | | | |
| | 12 | 嘱託医健診（内科） 予防接種 | | | | |
| | 19 | 県歯科診療 | | | | |
| | 20 | ぬくぬくふれあいコンサート | | | | |
| | 26 | 名古屋フィルハーモニーコンサート（刈谷） | | | | |
| 12 | 24 | クリスマス会 | | | | |
| 1 | 5 | 初詣 | | | | |
| | 12 | DEPプロレスもちつき&レクリエーション | | | | |
| | 22・29 | 新年会（ボウリング&焼き肉） | | | | |
| 2 | 1 | ポップサーカス | | | | |
| | 3 | 嘱託医検診（精神科） | | | | |
| 3 | 31 | 年度末反省会・お別れ会 | | | | |
| 月行事 | お楽しみランチ | | サークル活動 | 体重測定 | 血圧測定 | 歩行・レク |
| | カラオケ | | アピタ販売（第2水曜） | | 市役所販売（年3回） | |

6. ボランティア受入状況（延べ人）

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 区 分 | 計 |
|--------|-----|--------|----|-------|-----|
| 一 般 | 222 | 中高大学生 | 5 | 専門学校生 | 20 |
| 池浦福祉委員 | 13 | サークル講師 | 44 | 民生委員 | 14 |
| | | | | 合 計 | 318 |

7. 実習生受入状況（延べ人）

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 区 分 | 計 |
|-------|----|-------|----|---------|-----|
| 専門学校生 | 45 | 大 学 生 | 74 | 養 護 学 校 | 10 |
| 高 校 生 | 60 | | | 合 計 | 189 |

8. 授産事業

(1) 作業指導のねらい

利用者個々の能力と適応性に応じた作業の技術習得と「はたらく」ことへの喜び

- ・生きがいを持てるよう支援した。

(2) 工賃の支給額を作業状況、生活態度、対人関係を総合的に評価し決定した。

9. 作業内容（作業別収入）

| 取引先 | 売上高（円） | 内 容 |
|---------------|-----------|----------------|
| コーヒー豆 | 1,377,320 | 自家焙煎珈琲製造販売 |
| 山田製菓 | 1,913,347 | かりんとう・ドーナツ販売 |
| 自主製品販売 | 309,855 | 布草履・マットなど |
| サカキバラコーポレーション | 125,875 | バリ取り |
| 大見工業 | 649,234 | チップソー防錆液添付・箱詰め |
| ケーエス開発 | 427,904 | ロート |
| 安城市清掃事業所 | 336,000 | 土嚢袋 |
| 増田煙火 | 114,277 | 花火組み付け |
| 安城市指定ゴミ袋販売 | 563,350 | 燃やせるゴミ袋等 |
| タクマ産業 | 498,361 | ダクトシール貼り・パッキン |
| シン英鋼業 | 12,237 | アルミ缶 |
| 型善 | 17,500 | ノーパンクタイヤ |
| 安城スタイル | 1,200 | 南吉クッキー等 |
| 玩具 | 13,550 | おもちゃ等販売 |
| セルプ | 18,011 | 共同販売 |
| フジイ化工 | 64,440 | ペットボトルキャップ選別 |
| コミュニティー道路清掃 | 30,000 | 町内会道路清掃 |
| 杉本商会 | 12,400 | 新聞店サービス品（袋詰め） |
| その他 | 93,118 | 豚・狐置物等 |
| 合 計 | 6,578,009 | |

10. 工賃支給実績

《生活介護》

4月～3月工賃支給額計 2,449,605円
 1ヶ月平均工賃支給額 4,002円（1人当たり・賞与含む）

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

(1) 特別支援学校生や在宅又は就労等している障害者の平日の日中における活動の場を提供し、簡単な相談を受けながら情緒の安定と本人の居場所を作るとともに家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|----|---|---|----|----|----|----|----|----|---|----|----|-----|
| 利用者数 | 11 | 8 | 4 | 21 | 18 | 16 | 22 | 25 | 14 | 7 | 27 | 29 | 202 |

V. アットホーム

《基本方針に対する総括》

フルハウスが開所して、10周年を迎えた年であった。1月に10周年記念の食事会を開き、利用者、保護者とその長い年月を振り返る時間を共有した。暮らしている利用者は、10年の間に変わり、開所当初から利用する人は1人になったが、基本方針である「絆」を大切にしてその都度、新しいメンバーで生活をしてきた。

利用者が、ホームで自分らしく安心して暮らせるように、各ホーム2人の世話人と、日中の事業所、保護者と情報共有してチームで支援を行ってきた。

1. 重点目標に対する総括

(1) 自分らしい暮らしの支援

支援計画には、利用者のストレングスを活かし、ホーム内で無理のない内容を盛り込んで豊かな生活を支援してきた。

地域のイベント参加においては、池浦町内の盆踊りの練習に参加したり、安城七夕まつりへ散策しに出かけたり、コロナワールドの温泉に入浴を楽しんだり地域の中にあるお店へ外食に出かけたりした。

ホーム内でも、季節ごとのイベントを企画した。利用者の誕生日には誕生者を祝う会を開き、春にはお花見、冬にはクリスマス会などをして利用者の喜びの時間を過ごした。

残念であるが、ホームの生活に不安を感じた利用者の退居が1名あった。

(2) 円滑な運営体制の構築

保護者ニーズの「土日ホーム稼働」について、必要な情報を集め今年度土日稼働の第一歩を進める予定であったが、職員の中途退職があり実現ができず、職員の求人を行った。非常勤職員の募集をして6名のスタッフを集め実習を行い平日の運営体制を作ることができた。

(3) 人材の確保と育成

安城市自立支援協議会ホーム担当者会と協働して、2月に安城市内のグループホームの啓発とホーム職員人材の募集のための勉強会を開催した。20名を超える出席者がありグループホームの理解を広げることができた。今後も定期的には開催をしていく。

特に下半期、非常勤スタッフ募集のため折り込み広告やチラシ、口コミなど考えられるあらゆる方法を用いて人材確保に奔走した。結果、約15件の問い合わせがあり希望者にはホームで実習を行った。7名の非常勤スタッフと契約することができ、今後も育成と確保を継続して365日稼働に近づけていきたい。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 在籍者 数 ⑴ | 男性 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 13 | 13 | 13 | 13 | 14 | 14 | 14 | 164 |
| | 女性 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 48 |
| | 計 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 18 | 18 | 18 | 212 |

3. 住居ホーム（定員18名）

- (1) めろんぱん （利用者4名）安城市柿碓町
- (2) ホームぬくもり （利用者4名）安城市大東町
- (3) フルハウス （利用者4名）安城市池浦町
- (4) こやまホーム （利用者5名）安城市新田町

VI. むくもりの郷

《総括》

むくもりの郷は、利用者の生活を総合的に支援することを目的とした事業所であり、本来別の事業である生活介護事業、共同生活援助事業、短期入所事業、日中一時支援事業が有機的に連携できる仕組みづくりに努めてきた。生活介護事業は、安定して通えるようカリキュラム等の支援内容の工夫に努めてきたが、年度途中で複数名が入院され、前年比93%の利用となった。

生活介護事業所の他の事業も、支援内容、職員の勤務シフト等も一定の形になってきたと思われ、利用者の安定した利用につながっている。今後はその利用者増加に伴うサービスの質の低下を招かないよう、利用者満足度を常に意識しながら、基本理念に基づいた支援体制の充実をさらに図りたい。

《生活介護事業》

1. 事業内容

- (1) 適切な方法により、利用者の有する能力、置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上での適切な支援内容を検討した。
また、利用者の心身の状況、置かれている環境等に照らし、利用者が自立した生活を営むことができるよう定期的に検討するとともに、必要な支援を行った。
家族との連携を強めていくために、年2回の個別面談を実施したり、必要に応じて個別の相談援助・通院支援を行った。
- (2) 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排泄及び食事の介護、入浴、創作的活動の機会の提供を適切かつ効果的に行うよう努めた。
入浴においては、利用者の健康状態への配慮、利用者・家族の意向を尊重しながら、サービスの提供に努めた。年度末には開所以来はじめて利用者のインフルエンザの罹患があり、感染性の予防にはより一層配慮していきたい。
創作活動においては、12月に昨年に引き続き障害者アート展（～あいちアール・ブリュット展～）に応募し、3月に市民ギャラリーにて作品展（むくもりの郷作品展）を単独開催し多くの来場者に作品を見てもらうことで、利用者の創作意欲の向上と自信につながる事ができた。
- (3) 地域との結び付きを重視し、7月に感謝イベントの開催、地域交流ひろばの営業を通じての地域交流、地元中学生の職場体験及び小学生との交流会を受けるなど地域との交流の裾野を拓げるよう努めた。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍者数 (人) | 男性 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 11 | 10 | 9 | 137 |
| | 女性 | 6 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 61 |
| | 計 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 16 | 16 | 15 | 14 |
| 出席率 (%) | | 95.5 | 95.7 | 95.5 | 93.6 | 90.7 | 79.9 | 81.8 | 77.3 | 82.3 | 88.8 | 90.8 | 88.8 | 88.3 |

※ 1. 在籍者数は初日在籍数

※ 2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 年間行事

| 月 | 施設行事 | | | | |
|-----|--|----------|-----------|--------|-------|
| 5 | ふれあいクイズラリー (13) 健康診断 (27) | | | | |
| 6 | いちご狩り (2) 歯科検診 (4) | | | | |
| 7 | 感謝祭 (5) | | | | |
| 10 | 西部小学校交流会 (14・15) 日帰り旅行・館山寺パルパル (30) | | | | |
| 11 | フットベースボール大会 (5) 内科検診・インフルエンザ予防接種 (18) ぬくぬくふれあいコンサート (20) 福祉コンサート (20) | | | | |
| 12 | アールブリュット展出品・見学 (2) クリスマス会 (24) | | | | |
| 1 | 新年会・ボウリング・カラオケ (9) | | | | |
| 2 | ポップサーカス招待 (5) | | | | |
| 3 | ぬくもりの郷作品展 (2～6) 内科検診 (12) | | | | |
| 月活動 | 誕生日会 | 外食 | チャレンジスポーツ | 3 B 体操 | アート書道 |
| | 音楽 | リラクゼーション | | | |

4. ボランティア受入状況 (延べ人)

| 区分 | 計 | 区分 | 計 | 区分 | 計 |
|-----|----|---------|----|--------|-----|
| 一般 | 22 | 大学・専門学校 | 7 | サークル講師 | 9 |
| 中学生 | 3 | 小学生 | 90 | 民生委員 | 11 |
| | | | | 合計 | 142 |

5. 実習生受入状況（延べ人）

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 合計 |
|---------|----|---------|----|----|
| 社会福祉士実習 | 40 | 介護等体験実習 | 40 | 80 |

6. 職員外部研修状況

(1) 目的

- ア. 利用者の自立支援とQOLの向上を担える援助者づくり
- イ. チームワークとリーダーシップを担える援助者づくり
- ウ. 3つの能力「価値・知識・技術」に着目すること

(2) 研修内容

- ・新入社員研修＜基本コース＞ 市川・中村
- ・在宅医療・介護連携推進のための研修会 石川真
- ・グループホーム支援者養成講座 中村
- ・新規採用職員研修会館 市川・中村
- ・安城特別支援学校実習 三浦・蜂須賀・林
- ・問題解決手法研修 牧
- ・てんかん基礎講座 木村
- ・管理職員研修課程 施設長
- ・モチベーションアップ研修 小室
- ・チームリーダー研修課程 石川真
- ・行動理解・支援力パワーアップセミナー 三浦
- ・中堅職員研修課程 宇野
- ・初任者研修課程 市川・中村
- ・相談支援従事者研修（初任者） 林
- ・管理職向けメンタルヘルス講習会 施設長
- ・基礎研修 増田
- ・強度行動障害支援研修 石川真
- ・新入・若手社員フォローアップセミナー 松下
- ・愛知県サービス管理責任者【地域生活】研修 蜂須賀
- ・愛知県知的障害者関係施設職員研究大会 牧
- ・愛知県サービス管理責任者フォローアップ研修 三浦
- ・強度行動障害支援者養成研修（実践研修） 石川真
- ・大府福社会研修会 施設長・三浦・牧・宇野

《共同生活援助事業》

1. 事業内容

(1) 利用者が自立を目指し、地域において共同生活を営むことができるように個別支援計画を作成し、それに基づき世話人等より生活する上で苦手な部分（食事や健康管理等）の支援を受け、安心して生活できるよう努めた。

家族との連携を強めていくために、グループホーム屋外で利用者、家族、職員との懇親バーベキューを行い、親交を深めた。

年2回の個別面談を実施し、必要に応じて個別の相談援助・通院支援を行った。また、安城市や他事業所、相談支援事業者と連携を取り総合的なサービス提供に努めた。

Ⅲ棟の増築を行い、年度途中で1名の利用者増があったが、入念に実習をしてきたこともあり、安定した利用につながった。

(2) 地域とのつながりを大切にするため町内会に加入し、町内ふれあい夏まつり、町内運動会、町内一斉清掃、防災訓練等の地域が開催する行事に積極的に参加するなど地域住民と理解を深めるよう努めた。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 在籍数者(人) | 男性 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 90 |
| | 女性 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 60 |
| | 計 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 12 | 150 |

《短期入所事業》

1. 事業内容

(1) 居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に対し、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて必要な支援を行った。

主には「家族の入院」「家族の不幸」などの緊急時対応と「将来に向けて宿泊訓練がしたい」という希望、さらには「家族の介護負担の軽減」のニーズがあり、なるべくニーズに応えるよう努めた。

(2) 平成27年度も年間をとおして土曜日・日曜日とも実施をし、前年比91%の利用があった。前年と比較して減ったのは、前年度に保護者の入院に伴う長期利用のニーズに3件対応したためである。

(3) グループホームとの併設型であるため、グループホーム利用者の生活の安定を優先し、受け入れも安全面を十分に配慮するように努めた。

(4) 利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスの提供を行うことができるよう、事前に施設への訪問等を行い利用者の状況を把握に努めた。

2. 利用実績（延べ人）

| 事業所名 | ぬくもりの家 | ぬくもりワークス | まるくてワークス | ぬくもりの郷 | 一般 | 計 |
|------|--------|----------|----------|--------|----|-----|
| 利用者数 | 141 | 111 | 80 | 47 | 1 | 380 |

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

- (1) 日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。
- (2) 平成27年度はグループホームの将来的な365日体制に向け、年間をとおして土曜日・日曜日とも実施をし、前年比109%増の利用があった。引き続き、利用者ニーズの把握、職員間の連携、支援体制の確立に努めていく。

2 利用実績（延べ人）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 利用者数 | 132 | 162 | 137 | 122 | 163 | 125 | 138 | 133 | 162 | 146 | 141 | 126 | 1,687 |

VII. 相談支援事業所 ぬくもり

《総括》

特定指定相談支援は、安城市の指定を受けて「基本相談支援」と「計画相談支援」を行うサービスで、平成26年度までは「ぬくもりの家」「ぬくもりワークス」「まるくてワークス」の3施設で相談員は兼務で行ってきたが、平成27年度より3事業所を1事業所に統合（契約者数260名）し、専従相談員2名を配置してスタートした。しかし、6月末付で主任相談員が家庭の都合で退職、その後は、ぬくもりの郷のスタッフ1名を兼務で配置するとともに前任の相談員の協力体制を組んで何とか乗り切ることができた。

課題として、①相談支援専門員としての資質向上と相談支援体制の充実、②契約者数が多くきめ細かな支援や計画書の作成ができなかった、③1事業所だけでは対応できない困難なケースなどを社協の基幹型相談支援事業所に引き継ぐなど他事業所との連携を深めることである。

1. 契約者数（人）

| | | 平成27年3月末 | 平成28年3月末 |
|---------|----------|----------|----------|
| 法人内利用者① | | 161 | 155 |
| 内 訳 | ぬくもりの家 | 39 | 38 |
| | ぬくもりワークス | 56 | 54 |
| | まるくてワークス | 49 | 49 |
| | ぬくもりの郷 | 17 | 14 |
| 法人外利用者② | | 99 | 88 |
| 合計（①+②） | | 260 | 243 |

（1）変動理由

ア. 法人内利用者

- ・介護保険サービスに移行（1名減）
- ・就労継続支援A型に移動（1名減）
- ・市外に転居（1名減）
- ・死亡（1名減）
- ・困難事例で基幹型相談支援事業所に移籍（2名減）

イ. 法人外利用者

- ・一般就労により福祉サービスの利用がなくなった（3名減）
- ・本人都合により、福祉サービス利用を終了した（6名減）
- ・利用施設の相談支援事業所に引き継ぎ（2名減）
- ・介護保険サービスに移行（1名減）
- ・市外に転居（1名減）
- ・新規利用者、法人内から法人外事業所へ（2名増）

(2) 障害種別と活動地域

障害種別は、知的障害に限らず、身体障害（肢体不自由・内部障害・聴覚障害等）、精神障害（統合失調症・うつ病等）など多岐にわたっている。

活動地域は、法人外では日中系サービス事業所だけでも市内15事業所、市外（岡崎市・高浜市・知立市・豊田市・西尾市）8事業所の利用者を担当している。